

令和6年度

高規格救急車  
仕様書

泉州南消防組合

## [1] 総 則

### 1 目的

この仕様書は、泉州南消防組合(以下「組合」という。)が購入する高規格救急車について必要な事項を定める。なお、車両は次の消防署へ配置する。

(1) 熊取消防署

### 2 概要

製作については、この仕様書に定める他、道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要領、その他関係のある法令通達に適合し、緊急自動車として承認を得られるものであること。

### 3 契約

契約にあたっては本仕様書を承認し、不審な点は係員と協議したうえで契約するものとし、契約後における一切の疑義は本部の解釈に従うものとする。

### 4 仕様の変更及び質疑

製作に伴う諸種の理由で、本仕様書の内容について変更の必要があるとき、あるいは疑義が生じた時は、直ちに組合の担当者(以下「担当者」という。)へ連絡のうえ、指示を受けるものとする。

### 5 同等品申請

製造社、型式等を指定した機材について、同等品を選択する場合は、当該同等品の仕様等詳細資料を提示して同等品申請を行うものとする。

### 6 責任

設計、製作にあたっては、特許、その他権利上の問題に注意し、万一問題が生じた時は、製作者においてその責任を負うこと。

### 7 留意事項

製作にあたっては担当者と十分打ち合わせを行い、次の点に留意すること。

- (1) 軽量、頑丈、優美であり、器材の取り出し及び取扱いが容易であること。
- (2) 車体は、常時登録された車両の総重量の状態において、十分耐えうるものであること。
- (3) 各装置は、保守点検に容易な構造とすること。
- (4) 製作、艤装全般にわたり厳重検査を実施すること。

## 8 検査

仕様書、承認図等により担当者立会いの上、次により検査を行う。

- (1) 中間検査(担当者が適当と判断する時期)
- (2) 完成検査(艤装の完了後)

## 9 細部打合せ及び承認図等の提出

契約後、担当者と細部打合せを行うものとし、細部打合せ終了後、速やかに次に掲げる図書を2部提出し、組合の承認を得ること。

- (1) 製作工程表
- (2) 製作概要図
- (3) シヤシ関係図書
  - ア シヤシ諸元明細
  - イ エンジン諸元明細
  - ウ 電気配線図(回路の電流値計算書を添付すること)
- (4) 艤装図
- (5) 標準装備以外の装備取付図
- (6) その他組合の指示するもの

## 10 完成図書等の提出

- (1) 9の(2)～(6)に掲げた図書
- (2) 外注品一覧表
- (3) シヤシ取扱説明書(冷房関係に係るものを含む)
- (4) 分解整備に必要な資料(整備要領書、パーツリスト等)

## 11 保証期間

保証期間は納車の日から1年間(ただし、各部品メーカーが公表する保証期間と異なる場合は期間が長い方とする。)とし、構造上(部品、材料の不良を含む)あるいは、艤装にかかる技術上のミスによって故障し、又は不備欠陥が生じた場合は、保証期間が過ぎても責任を持って速やかに処置すること。

## 12 納期等

納期等については下記のとおりとする。

- (1) 納期は令和7年3月14日とする。ただし天災地変その他不可抗力により期限内に納入できないときは、直ちにその理由を詳記した書面をもって発注者に対し遅延の申し出をなし、その承認を得ること。

- (2) 納入場所:泉州南消防組合熊取消防署
- (3) 納入時、車両及び救急装備品について、取り扱い説明を行うこと。

### 13 その他

- (1) 契約締結から納入までの諸経費(自動車損害賠償責任保険料、自動車重量税及び自動車リサイクル料は除く)及び検査費は、入札額に含むものとする。
- (2) 前(3)の車両については、担当者の指定する日に近畿運輸局大阪陸運局で所定の手続き(抹消登録)を実施し、手続きに係る費用は受注者が負担すること。なお、抹消登録後は抹消登録証明書を本部に提出すること。本件は、「消防車両等の適切な管理及び処分について」(平成16年8月24日付 消防消第169号消防庁消防課長通知)に基づくもの。

## [2] 仕 様

### 1 諸元

ガソリンエンジンを搭載し、四輪駆動の高規格救急自動車とする。

※ 車両及び車両装備は、メーカー公表の最新のものとする。

### 2 艤装及び装備品

艤装及び装備品については、下記のとおりとする。

#### (1) 外装関係

ア 赤色ベルトラインを取り付けること。なお、ベルトラインは、車体前面以外を再帰性に富んだ反射材で施工すること。

イ 消防本部の名称(泉州南広域消防本部)を、カッティング丸文字ゴシック体のシールで、車体左右及びバックドアに貼り付けること。

なお、文字は左から右への横書きとし、対空表示を除く担当者が指定する文字には反射材を使用すること。その他の表示(組織徽章、救急隊標章、署所名、無線識別番号、救急マーク(STAR OF LIFE)、文字入れ等)を指定する箇所に貼り付けること。

ウ 車体側面に、レスキューセット(バール、万能斧、シートベルトカッター、ガラスカッター、クリッパー)固定金具を取り付けること。

エ 車体前面中央に消防章(直径150mm)を取り付けること。

オ 赤色警光灯は、ルーフと一体感をもたせた警光灯とし、フロント及びリアサイド2箇所に大型散光式警光灯(LED式)を装備すること。

なお、フロントルーフ部分の赤色警光灯は、左右側面からも点灯が容易に視認できるようにLED赤色灯3式を前方放射状に増設するなど措置を講ずること。

カ フロントバンパーの左右2箇所に、赤色点滅灯(LED式)を赤色警光灯と連動させて

- 取り付けること。
- キ サイレンアンプは、大阪サイレン製OPS-151Q・MarK-D1と同等品とし、出動予告、各種音声合成(詳細別途指定)、サイレン音鳴動スイッチを設置するとともに、スピーカーは、フロント下部裏側等の外部から目立たない位置に取り付け、車内の静穏性を保つこと。
- ク 助手席に、ウー音サイレンの足踏みスイッチを取り付けること。
- ケ モーターサイレンスイッチを指定する位置2箇所(運転席及び助手席から操作が容易な箇所)に取り付け、自動吹鳴リレーを付属すること。
- コ ヘッドランプはLEDヘッドランプとし、LEDフロントフォグランプを取り付けること。
- サ 車体両側面ルーフ部分に、ルーフサイドLED作業灯(スイッチ付)を設置し、LED路肩灯を車体側面下部の指定する位置に取り付けること。なお、路肩灯のスイッチはスモールランプと連動とするが、連動切替スイッチも取り付けること。
- シ 運転席からのフロント左下死角部の視認性を得るため、フロントアンダーミラーを取り付けること。
- ス 左右フロントドアにサイドバイザーを取り付けること。
- セ 助手席から後方が確認できるよう、アウトサイドミラーを指定する位置に取り付けること。
- ソ 左右フロントステップ、サイドステップ及びリアステップにアルミ縞板を取り付け、セフティウォークを貼り付けること。
- タ リアバンパーにステンレス製の傷つき防止板を取り付けること。
- チ 左右フロントドア上方ルーフサイド又はドアミラーに、フラッシャーランプ(指示器)を取り付けること。
- ツ ステンレス製の旗たてを、車両左側ドア上部付近に1箇所、ネジ止め付で取り付けること(アルミ製ポール1本を含む。)
- テ 右側キャビネット後方にLED式赤色灯を取り付け、バックドア開放時に赤色警光灯と連動させること。また、バックボード収納口付近にハザード連動スイッチ、リア連動スイッチを設けること。
- ト バックドア内縁にLED灯を赤色警光灯と連動させて取り付けること。
- ナ バックドア上部にLED作業灯(スイッチ付)を取り付けること。
- ニ バックドア上部の左右2箇所に、赤色点滅灯(LED式)を赤色警光灯と連動させて取り付けること。
- ヌ バックドア開口部左側に、グリップ(長タイプ)を取り付けること。また、バックドア開閉をアシストするためのストラップを取り付けること。
- ネ ナンバープレートにフレームを取り付けること。またナンバープレート灯(番号灯)はLED灯とすること。

ノ フロントコーナーセンサーを設けること。

ハ その他は、メーカー標準装備とする。

## (2) 内装関係

ア ストレッチャー架台を傷病者室後部中央付近に設け、メインストレッチャーの収納及び取り出しが安全且つ容易にできる構造とし、落下防止機構を有するものであること。ストレッチャー架台は、左右スライド機能及び防振機能を有し、胸骨圧迫実施時等に防振機能を解除できる構造とし、最新の機能を有したものとすること。また、頭部側に脱着が容易なヘッドパッドを取り付けること。

イ 傷病者室フローアには、室内を水洗いできるよう防水処理を施すとともに、フローアのコーナーや壁面接合部等にはシーリング処理を施すこと。

ウ 傷病者室の右側面窓ガラスは全面白色フィルム、左後方側面窓ガラスは全面くもりフィルム、後面窓ガラス及びスライドドア窓ガラスは下2/3をくもりフィルム処理をし、傷病者室のスライドドア部にカーテン及び後面窓に電動カーテンを取り付けること。

エ 運転席後部に、自動式心マッサージ器(LUCAS3)、泉州南仕様の救急バッグ及び外傷バッグが収納可能で高さ調節及び取り外し可能な棚を内部に有する縦型収納庫を取り付けること。また、収納庫の扉内側にはネットシェルフ(2箇所)を取り付けること。

オ 傷病者室の指定する位置(6箇所)に、グローブボックス固定ベルトを取り付けること。担当者が認めた場合に限り脱着式のグローブボックスの代用も可とする。

カ 傷病者室前部の指定する位置に収納庫を取り付け、トレイを設けること。また、その上部には縦型2段収納を設け、扉は金属製とするもの。

キ 傷病者室右側前部に、3段収納庫1個を取り付けること。

ク 傷病者室左右ルーフサイドに収納庫(計4個)を取り付け、その内指定する収納庫を施錠付きとすること。

ケ 傷病者室右側後部窓付近の指定する位置に、大型収納庫を取り付けること。

コ 傷病者室天井(3箇所)に、ルーフネットを取り付けること。

サ 傷病者室内の指定する位置に、ホワイトボードを取り付けること。

シ 傷病者室前部の指定する位置に、手指消毒用収納庫及び信号灯収納庫を取り付けること。

ス 傷病者室の座席は合計4席以上(例:横向き2人掛け・前向き1人掛け・後向き1人掛け)とし、前向き1人掛けはハイバックシートとすること。また、各座席にはシートベルトを設け横向き2人掛けシート下は収納庫とすること。

セ ハイバックシート下部に、酸素ボンベ(支給品:2L×1本)の搭載装置を取り付けること。床との設置個所にはシーリング処理を施すこと。固定金具が必要な場合は、担当者の指示に従うこと。

ソ 冷温蔵庫(小型で最新の機能を有した機種)を設置すること。設置場所につい

- ては活動の邪魔にならないよう指定する位置に取り付けること。
- タ 傷病者室内に、フィルター付換気扇を取り付けること。
- チ 傷病者室の指定する位置(2箇所)に、アシストグリップを取り付けること。
- ツ 傷病者室内の右側面にAC電源を必要としないデジタル電波時計を取り付けること。
- テ 傷病者室右側の指定する位置に、携帯型吸引器(支給品:アキュバック・プロ D WACC-PD)の固定装置を取り付けること。
- ト 傷病者室右側の指定する位置に、吸引カテーテル保持パイプを取り付けること。
- ナ 傷病者室右側の指定する位置に、人工呼吸器(支給品:ANSWER KOM299D S)の固定装置を取り付けること。
- ニ 傷病者室右側の指定する位置に、患者監視装置(支給品:ベッドサイドモニタ BSM-3562)の固定装置を取り付けること。
- ヌ 傷病者室右側の指定する位置に、半自動式除細動器(支給品:XSeriesAX-12CESN)の固定装置を取り付けること。
- ネ 傷病者室右側の指定する位置に、ウォール型アネロイド血圧計(支給品:タイコス 767シリーズ)の固定装置を取り付けること。
- ノ 傷病者室右側の指定する位置に、オゾン発生器(支給品:バクテクター03 BT-03)の固定装置を取り付けること。
- ハ 傷病者室右側面に、医療機器等コード収納庫(上1箇所、下2箇所)を設けること。
- ヒ 傷病者室右側に、スcoopストレッチャー(支給品:ファーノ モデル65EXL(ピン付))及びバックボード(支給品:ファーノ モデル2010)を容易に収納、取り出し可能な収納庫を取り付けること。
- フ 傷病者室右側に、酸素ボンベ(支給品:10L×2本)及び加湿流量計(支給品:オキシパック OX-ⅢS)の固定装置を取り付けること。
- ヘ 傷病者室天井(2箇所)に、輸液ビンホルダーを取り付けること。
- ホ 傷病者室右側後部に、医療機器の取り付け用の汎用メディカルポールを取り付けること。
- マ 傷病者室内の隊員が容易に作業できる位置に、フットペダル開閉機構を有する蓋付きのゴミ箱を取り付けること。
- ミ 運転席上部(2ケ)、助手席上部(2ケ)、傷病者室右側後向きシート上部(3ケ)及び右側窓上(4ケ)の指定する位置にフックを取り付けること。
- ム 運転席付近に、車両の周囲全方位の安全確認が可能なモニター(カメラ含む)及びSDカード式カーナビゲーションシステム(納品時最新型のものとする)を取り付けること。
- メ 運転席付近に、車両後方の安全確認が可能なインナーミラー(カメラ含む)を取り付けること。
- モ アンテナ分離型ETC車載器(ビルトインタイプでカーナビゲーション連動型)を運転席

- 及び助手席から操作が容易な指定する位置に取り付けること(セットアップを含む)。
- ヤ 運転席付近の指定する位置に、ドライブレコーダー(前後方向の確認が可能なもの及び運転席が確認可能なもので納品時最新型とする)を取り付けること。
  - ユ 運転席付近に、フレキシブルマイクを取り付けること。
  - ヨ 運転席付近に電流計・電圧計を取り付けること。
  - ラ 運転席側及び助手席側に、フレキシブルマップランプ(LED灯)を取り付けること。
  - リ 助手席から傷病者室が確認できるように、インナーミラーを取り付けること。
  - ル 運転席と助手席の間に、蓋付き収納ボックス(A3サイズ)を取り付けること。また蓋上面には滑り止めシートを取り付けること。
  - レ 運転室及び患者室の指定する位置に、地図収納庫を取り付けること。
  - ロ 各座席には、厚い透明のビニール保護シートを取り付けること。また各座席用の予備シートを付属すること。
  - ワ 運転席及び助手席に、フロアマットを取り付けること。

### (3) 電装関係

- ア 車内の照明は、患者室照明は明るさ調整機能付きとし、傷病者の症状及び救急隊員の業務遂行に支障のない明るさを有すること。また、傷病者灯2個(角度調整付)を設け、後部隊員席上部に照明を取り付けること(照明は対応可能な限り全てLEDとする)。
- イ バックドアに、バックドアスポットランプ(角度調整機能付)を取り付けること。
- ウ 後退警報音声装置(解除機能付)を取り付けること。
- エ 車両後部に、外部AC100V電源用マグネット式コンセントを取り付け、電源供給時には車両バッテリーに自動充電する構造とし、バッテリーについては点検、着脱が容易にできる構造とすること。なお、外部電源入力中は、エンジンスタートができないようにスターターカット改造を行うこと。
- オ 傷病者室内に、インバーター(DC12V-AC100V用・容量300W)を取り付けること。また、AC100V用及びDC12V用コンセントを、運転席、助手席後部及び傷病者室内の指示する位置に取り付けること。
- カ AC100V及びDC12Vの電源自動切替構造とし、エンジンを始動せずに積載機器内臓バッテリーの充電及び車内での積載機器の取扱いができる仕様とすること。また、機器の故障を防ぐためコンセント接続時には、エンジンが始動できない構造とすること。
- キ 盗難防止機構(乗り逃げ防止装置)を施し、運転席の指定する位置に起動スイッチを取り付けること。

### (4) 無線機及び車両運用端末装置関係

- ア 無線機本体、無線共用器及び空中線については、消防救急デジタル無線共通仕様書第1版を遵守し最適な位置に取り付けるとともに、無線機が正常且つ円滑に稼働で



きる状態を事業完了後も保つこと。

イ 無線機一式及び車両運用端末装置一式は現行車両から積み替えとするが、同軸ケーブル、空中線及び埋め込み式無線モニター用スピーカーは当該事業により新規整備すること。

ウ 無線機本体は、助手席付近の容易に操作及び視認できる位置に取り付け、送受話器及びスピーカーについては、担当者が指示する位置(助手席及び患者室内)に以下のとおり取り付けること。

① 埋め込み式無線モニター用スピーカー(ON/OFFスイッチ付)

運転室及び傷病者室(3箇所)

② 送受話器 助手席1箇所、患者室1箇所

エ 無線機本体に付属する無線共用器等は活動に支障のない位置とし、専用の収納庫を設けること。

オ 患者室内に点検口(2箇所以上)を設け、無線アンテナをルーフ上部に取り付けること。  
なお、同軸ケーブル等はフレキシブル配管で施工するものとし、施工経路は担当者の了承を得ること。

カ 走行時に無線機に入る雑音を防止するための処置を講ずること。

キ 担当者が指示する位置に無線識別番号を明示すること。

なお、明示方法(材質を含む。)及び車体の明示位置については、別途指示する。

ク 高機能消防指令システムの構成機器である車両運用端末装置については、現行車両から積み替えとするが、通信用アンテナ(FOMA)及びGPSアンテナは当該事業により新規整備すること。

ケ 車両運用端末装置は、無線機と接続するとともに、高機能消防指令システムと連動し、正常且つ円滑に稼働できる状態を事業完了後も保つこと。

コ 車両運用端末装置は、担当者の指示する容易に操作及び視認できる位置に取り付けること。

サ 車両運用端末装置に付属する装置等は活動に支障のない位置とし、専用の収納庫を設けること。

シ 無線機及び車両運用端末装置の積み替えにより、無線システム及び指令システムの改修等が必要となる場合は、受注者(乙)の責任において実施すること。

ス 無線機一式及び車両運用端末一式は、担当者が指示するとおり入れ替えること。

①トヨタ 和泉 833 る・119 に積載の無線機一式及び車両運用端末一式を熊取署配置の車両に取り付けること。

②トヨタ 和泉 830 た・19 に積載の無線機一式及び署所端末装置一式をトヨタ 和泉 833 る・119 に取り付けること。

### 3 車両関係取付品

下記のとおり、取付品を備えるものとする。

#### (1) メインストレッチャー

メインストレッチャーは、エクスチェンジ構造とし、強固且つ軽量で、高さ、背もたれ及び下肢側がそれぞれ数段階に調節可能であること。また、どの高さで曳航しても後輪の2輪が自在に動き、ストッパー機能を有すること。なお、ストレッチャーは、アンダーキャリッジから容易に着脱でき、抗菌マットレス、点滴保持用のポール、サイドアームプレート、サイドアームワイヤー、傷病者固定用ベルト、専用枕を取り付けること。

#### (2) その他機材

ア スタッドレスタイヤ(ホイール付)5本

イ タイヤチェーン

ウ LED 非常信号灯

エ 停止表示板

オ LED 合図灯 三甲(株)8Y4016

カ トルクレンチ(ホイールナットソケット付き)

キ 洗車用具一式

ク 消火器(助手席後部に設置)

ケ レスキューセット(バール、万能斧、シートベルトカッター、ガラスカッター、クリッパー)

コ マグネット式電源引き込み装置用コード

サ 納車一か月後のオイル・エレメント(交換料を含む)。

### 4 その他

その他の事項について下記のとおりとすること。

#### (1) 納車時

ア 納車時に装着するタイヤ(ラジアル・スタッドレス)は取り付け指示を受けたものを装着すること。

イ 車両燃料を満杯にすること。

ウ 車両移送時は、緊急走行不可(回送中等)であることを四方から容易に確認できるように磁石式のプレート等により明示すること。